

2019年4月26日

各 位

会社名	G F A株式会社
代表者名	代表取締役 高木 良
(コード番号:	8783)
問合せ先責任者	経営企画部 主任 佐藤 津由佳
(TEL	03-6432-9140)

特別損失の計上及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2019年3月期（2018年4月1日～2019年3月31日）に特別損失を計上するとともに、最近の業績の動向等を踏まえ、2018年7月31日に公表した業績予想を下記の通り修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上

当社子会社であるGFA Capital 株式会社保有する固定資産(マイニングシステム)について、実質価値が著しく下落し、その回復の可能性が低いと評価したため、減損損失 39 百万円を特別損失として計上することとなりました。

2. 2019年3月期の連結業績予想数値の修正（2018年4月1日～2019年3月31日）

(単位：百万円、円・銭)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	1,650	141	101	71	7.48
今回修正予想 (B)	1,076	△140	△254	△252	△26.56
増減額 (B-A)	△574	△281	△355	△323	
増減率 (%)	△34.7%	—	—	—	
(参考) 前期実績 (2018年3月期)	1,593	117	86	82	9.98

<修正の理由>

売上高につきましては、第2四半期において、ネクスト・セキュリティ株式会社を子会社化したことに伴い、同社による売上102百万円が計上される一方で、不動産投融資事業において、東京都目黒区に保有しております販売用不動産の売却に関して、取引先との売却価格の折り合いがつかず遅れが生じました。加えて、当社子会社であるGFA Capital株式会社のファイナンシャル・アドヴァイザリー事業において、目標としていた案件数に到達せず、手数料収入が減少したことにより売上高が574百万円、当初の想定を下回る見込みとなります。また、それに伴い営業利益においては、特に利益率の高い販売用不動産の売却が遅れたことによる影響が大きく、当初の想定を281百万円、下回る見込みとなりました。

経常利益につきましては、当社の持分法適用関連会社について、連結会計上の再評価を行い、持分法による投資損失約47百万円を計上することとなり、また、子会社取得関連費用などの営業

外費用が追加で27百万円発生したことから355百万円、当初想定を下回る見込みとなりました。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、第3四半期において、関係会社株式売却益を特別利益として46百万円を計上しておりましたが、「1. 特別損失の計上」で記載しました通り、特別損失として39百万円を計上することとなり、また、法人税等の計上額が26百万円減少したことから、323百万円、当初想定を下回る見込みとなりました。

* 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上